

[採択案件]

	プロジェクト代表事業者	事業内容
第一次採択結果	一般財団法人沖縄県環境科学センター	当センターがサンゴ礁等の環境調査を実施する際に、保有するサンゴ礁調査船「Varuna」の運航に伴って排出されるCO2をオフセット・クレジット(J-VER)でオフセットする取組。 環境へ配慮したサンゴ礁調査を実施すると同時に、自然環境保全と地球温暖化対策が一体となった取組をPRし、サンゴ礁保全と地球温暖化対策の重要性の普及啓発を図る。
	株式会社関西シー・アイ・シー研究所	株式会社関西シー・アイ・シー研究所が関西地域において開発・販売するクリーンルーム向け新製品(「粘着マット」と「スケルトンバッグ」)の廃棄段階のCO2排出量を、近畿圏内のオフセット・クレジット(J-VER)を活用してカーボン・オフセットすることで、地産地消型カーボン・オフセットを実現する。オフセット認証まで取得することで利用者の環境・CSR対策を支援する業界初の試み。
	東海エコフェスタ実行委員(株式会社流行発信)	愛・地球博記念公園モリコロパークで開催される「TOKAI ECO FESTA」の来場者・運営者・出展者の移動と飲食ブースでの自家発電機による燃料使用にともなうCO2排出量を東海地域のオフセット・クレジット(J-VER)でオフセットする取組。 家族連れが多いイベントでカーボン・オフセットをPRすることで、消費者層に広くカーボン・オフセットや東海地域のJ-VERプロジェクトの普及促進を目指す。
	八峰白神自然食品株式会社	「八峰白神の塩」1個につき、購買者のキッチンにおけるCO2排出量の一部をオフセットする取組。クレジットには、白神山麓・八峰町有林で創出されたオフセット・クレジット(J-VER)を用いており、「八峰白神の塩」を購入することで世界遺産である白神山地の山麓部における環境保全に貢献できる。首都圏のアンテナショップでの販売を予定し、カーボン・オフセットの普及促進と共に環境保全に貢献することを旨とする。
	北海道リース株式会社	業界で初めてオフセット・クレジット(J-VER)を活用したオフセット認証ラベルを取得(予定)。「カーボン・オフセット付オートリースプラン(ビジネスカーV-PLAN)」として、リース車の走行から発生するCO2の2ヵ月相当分をオフセットするキャンペーンを実施。 オフセットには北海道産のクレジットを活用し、北海道の森林保全活動の普及促進を図る。
第二次採択結果	井上金庫販売株式会社	四国繊維販売株式会社と共同で開発した廃ペットボトルからできるパーティーの製造にともなうCO2排出量を見える化し、北陸地方のオフセット・クレジット(J-VER)を使用してカーボン・オフセットをする。 処分時には、再生ボリ綿ボードをリサイクルすることで資源循環ができるがさらにカーボン・オフセットすることで地球温暖化対策にも配慮した環境にやさしいリサイクル商品として全国にPRし普及啓発を図る。
	エコ推進事業協同組合(熊本電気工業株式会社)	エコ推進事業協同組合員である熊本電気工業株式会社が製造する高効率照明「シャイン・ブライト」の反射笠製造過程で、主なCO2排出工程である蒸着工程からの排出量を地元(佐賀県産)のJ-VERでカーボン・オフセットをする取組。 この業界で初となる製造過程の一部にカーボン・オフセットを導入することで地球環境を考へる商品となり、地元森林の保全と地球温暖化防止の普及促進の発展を目指す。
	九州の森林カーボン・オフセット推進協議会	九州の山林で林業機械が1年間に排出したCO2を九州の森林管理で創出されたJ-VERでカーボン・オフセットをする。 地産地消型のカーボン・オフセットのみならず、業界内でカーボン・オフセットを実現する初の試み。林業界のみならず、他の業界でも認知・実施されるように普及促進を図る。
	研醸株式会社	にんじん焼酎「珍」、焙煎むぎ焼酎「妻・こぶくろ」各1本に1kg-CO2のJ-VERをセットで販売(久留米市田主丸地区の森林によるCO2吸収量クレジットを使用)。 小売業者の差別化販売を企画、共同実施(地産都商・おみやげ定番化・地産地消)と筑後地方の伝統産業と豊かな自然(山・川)の保全を応援してもらえるファンづくりを行う(「晩酌de森林保全」・「晩酌deちくご伝統産業支援」)。
	株式会社杉本組	公共工事における建設重機から排出されるCO2の一部を、請負施工業者の株式会社杉本組がオフセットする取組。 J-VERは秋田県産有林J-VERを用いて、地産地消型のカーボン・オフセットを目指す。これらにより、建設業界のカーボン・オフセットの普及と地元秋田の森林保全に寄与する。
	智頭町森林セラピー推進協議会	智頭町にて展開中の森林セラピーツアーにおいて、ツアー参加時の移動に伴うCO2排出量(想定量)の一部を智頭町の森林吸収源J-VERを活用してオフセットすることで、森林資源の有効活用を促し、地域とその森林を持続的に保全する取組として展開。 森林を大切な財産とらえ、木質資源の生産場としての役割に加えて森林セラピーを町づくりのメインテーマの一つとして取り組んでいる智頭町において、J-VERや癒し効果という新しい森の恵みを最大限活用した取組となることを目指す。
	ニチハ株式会社	外壁材に森林組合が生産した間伐材を原料として使用し、同森林組合の間伐事業により創出されたJ-VERを付与する取組。 今後、各地の森林組合等から間伐材とJ-VERをセットにして調達することを検討しており、日本国内の森林保全及びJ-VER制度の発展と、消費者へのカーボン・オフセットの普及促進を目指す。
	株式会社ふるさと企画	岐阜県東白川村の地場産品を販売する際、購入者の1日の家庭生活から排出されるCO2を東白川村のJ-VERでオフセットする取組。 購入者へ村のイベント・森林の紹介などを行い、村への観光流入・資金還流を図る。
	北海道庁	北海道の環境イメージキャラクターである「環境忍者」えこ之助が、省エネ・節電等に繋がるライフスタイルの実践を普及啓発する活動に伴い排出されるCO2を北海道産のJ-VERでカーボン・オフセットする取組。 「えこ之助」が北海道内で開催されるイベントを巡り、道民の方々にカーボン・オフセットの仕組みや北海道産J-VERプロジェクトの概要を紹介することで、カーボン・オフセットの認知拡大を目指す。
	株式会社まるちく	沖縄県宮古島市において、観光タクシーを使ったエコツアー参加者に対し、1日の家庭生活から排出されるCO2をJ-VERでカーボン・オフセットする取組。 旅行者にBDFの説明や活用方法を伝えていくことで、J-VER制度及びBDFの普及促進を図る。

第三次採択結果	株式会社環境思考	三重県内で展開中の「森のエコステーション」において、消費者がエコステーションに資源物を持ち込む際の車の移動と、回収業者のエコステーションから工場までの運搬に伴うCO2排出量を、ポイントシステムを利用して三重県大台町のオフセット・クレジット(J-VER)を使用してオフセットする取組。業界で初めて、資源の有効活用を図り「お客様参加型リサイクル」で森林を持続的に保全する取組を行うとともに、消費者へのカーボン・オフセットの普及促進を図る。
	企業組合県木住	一般住宅(青森県産材100%木造住宅)建設に伴うCO2排出量(燃料(移動含む)、電気、水道、廃棄物処理等に伴う)を、施工会社「企業組合県木住」が青森県県有林で創出されたJ-VERでカーボン・オフセットをする取組。地産地消型のカーボン・オフセットを継続的に行うことで、青森県の森林保全と、建設業界、住宅取得者にも認知拡大を目指す。
	株式会社シグマサウンズスタジオ	ヒップホップグループ「nobodyknows+」が2012年12月28日に開催するワンマンライブで、カーボン・オフセットを広める活動を発信する。ライブに参加する運営者・来場者の移動、イベント会場の電力使用等のCO2排出量を中部地域のJ-VERを使ってオフセットし、音楽を通して環境配慮の取組を広げ、カーボン・オフセットの普及啓発を目指す。
	ツタイ工業株式会社	廃プラスチックを利用した製品「ハイステップ・コーナー」とグリーン購入法適合商品「エコSTブロック」を製造するときのCO2排出量を、中部地方のJ-VERを使用してカーボン・オフセットする取組。環境に配慮した製品ではあるが、さらに踏み込んで製造工程のCO2排出量をオフセットする。この取組を通して、中部地方の森林保全とカーボン・オフセットの知名度の向上に寄与する。
	ブランシュたかやまスキーリゾート (株式会社長和町振興公社)	平成24年12月8日からオープンするスキー場において、カーボン・オフセットの実務的な学習を含めたエコ教室を、来場者を対象に開催する。プログラム参加予定者(5,000名を想定)の方の自宅から施設までの移動に伴うCO2排出量の一部(4kg-CO2)を、地元長野地域のJ-VERを使ってオフセットし、スキー場の温暖化対策としての環境配慮の取組を広げ、カーボン・オフセットの普及啓発を目指す。



